

安部：私が言うのも変ですが、白石がどういうまちかと、一つには奥羽越列藩同盟は米沢藩主上杉齊憲が提唱して親せきである会津藩を救えということが始まったわけですが、盟主は伊達慶邦で、白石城に集まったわけですね。白石と言ったら奥羽越列藩同盟を結ぶために集結したまちとして紛れもない事実としてあって、上杉の呼び掛けで盟主が伊達家という、伊達、上杉の結束の地でもあります。もう一つは、来年の天地人の直江兼続は上杉のナンバー2、片倉小十郎も伊達家のナンバー2、世の中はナンバー1だけで成り立っているのではなく、ナンバー2以下たくさんスタッフによって成り立っている、ナンバー2のまち、しかし二番煎じということではなく、米沢も会津に上杉景勝がいた時は、やはりナンバー2の直江兼続のまちということで、共通点があると思いますね。

風間：そうですね。上杉景勝公が会津若松にいたころには、米沢城主が直江兼続公です。このような歴史的な縁が基となって、昨年10月に本市で開催した「鬼小十郎まつり」に来ていただいで、それが縁で今年このような対談が実現したと、私はとてもうれしく思いますね。



互いに交流人口の増加を目指して

安部：白石と米沢をつなぐ国道113号は、白石の隣が七ヶ宿町、七ヶ宿町の隣が高島町、その隣が米沢ですから、2軒おいての隣組みみたいなものです。風間：そうですね。今日もだいたい1時間20分で米沢に着きましたからね。

道はどういう道かと言うと、毎年10月に開催されています「ラ・フェスタ・ミツレミア」のコースになっていきます。このラリーのコースは、景色の良い場所を選んでいっていると思います。そのコースに選ばれているというところは白石と米沢を結ぶ国道113号は、七ヶ宿町と高島町をあわせて美しい風景が続くすばらしいドライブコースで、全国の皆さんにお薦めでき

ると思います。風間：その通りですね。言われてみると、安部市長がおっしゃる通り風景が良いところを走るでしょうから、一つのドライブコースであるということですね。白石市民にも呼び掛けて、ドライブがてら米沢に行つて天地人を見ろというのはいかがでしょうか。安部：逆に言えば、米沢市民だつてこのコースで白石に行つて

NHKエンタープライズさんのご協力をいただいて、「天地人博」を行いますので、ご覧いただくことさらに天地人がよく分かるようになります。風間：私たちも、天地人博を拝見させていただき、交流を深めていきたいなと思います。お互い切磋琢磨して、市民の幸せのために頑張っていくことを新年の約束としてはいかがですか。

義と愛の二本立てのまち

安部：いいですね。どうぞよろしくお願ひします。観光も当然両市にとって大切な施策の一つだと思ひますが、「温故知新」ということで、自分たちのまちがいかなるまちかということをも市民みんなが認識して、いかなるまちから、いかなるまちにしていきたいかにつながると考えています。まちが発展するために過去を振り返る機会という意味でも、歴史を振り返ることとても大切だと思います。風間：まさしくそうですね。私

のところでも地域の宝を光らせようということをやっている、自分たちの歴史を知って当たり前となつていくものを、再認識していかなければならないと考えています。安部：天地人は、米沢と新潟県



▲直江兼続公の「愛」の前立てのかぶと

の関係する自治体が、義と愛をキャッチフレーズとしていて、直江兼続もそうですが、そもそもは上杉謙信が武田信玄に塩を送つて「敵に塩を送る」のことわざの由来になっています。愛は直江兼続もそうですが、上杉鷹山が藩政改革を行つて、日本一貧乏と言われていた米沢藩を経済的に立て直しただけではなく、棒杭市と言われる無人販売所でも勘定をごまかす人がいないと記録に残っています。これから言えることは、望ましい地域社会というのは、経済の発展と精神の向上との二つ、精神の向上はモラル、道徳、倫理と言つても良いのですが、これら二本立てで伸びていくまちがいいまちだと思つていて、今の日本は経済だけで発展してきたために、今日、こういう結果になっていると思います。

風間：これからも、よろしくお願ひします。今日は本当にありがとうございました。安部：こちらこそ、ありがとうございました。

風間：本当ですね。精神面はどこかに置いてきてしまったのかと思いますね。安部：米沢としては、義と愛の精神の方も大事にして、精神と経済の二本立てのまちを目指していきたいと思つています。風間：私も「共汗、共学、共生」を基本理念としてまちづくりを行つています。経済だけではなく、精神面の向上も図りながら進めていきたいと思ひます。大変参考になりました。私の好きな言葉が、上杉鷹山公の「為せば成る、為さねば成らぬ事も、成らぬは人の為さぬなりけり」です。特に最後の「人の為さぬなりけり」が好きなんです。義と愛は上杉謙信から始まつて、よく考えてみると、今から140年前の戊辰戦争も義と愛なんです。米沢藩が会津藩の救済のための愛から始まる奥羽越列藩同盟、そして戦地にしたくないという領民に対する愛、そして義の心で戦っているんですよ。安部：義と愛というものは、東北の人間にとって共通ものですね。風間：これからは、よろしくお願ひします。今日は本当にありがとうございました。

お城を見てミュージアムを見て、天地人に登場する伊達政宗や片倉小十郎の活躍を勉強するというのもお薦めしたいと思ひます。風間：ありがとうございます。安部：そもそも、伊達政宗は米沢生まれ、片倉小十郎は米沢市に近い長井市にある八幡宮の神職の子ともいうことで、米沢の皆さんと同じ空気を吸つて、同じ風景を見て暮らしていたわけですから。風間：いいですね。市民同士がお互いの城下町を堪能できたら、お互いの交流人口の増加にもつながりますし、そこからまたいろいろなもの芽生えて、お互いのまちづくりにつなげていけたら最高だと思います。

安部：まずは、交流だと思ひますので、白石市民の皆さんに米沢までのドライブコースを宣伝して、ほかの城下町を見て自分のまちの良さを見てもらえれば、新たな白石のまちづくりにつながると思ひます。風間：さすが、直江兼続のかぶとの「愛」が生きていますね。今後お互い、何かの折に物産交流などを行つていきたいと思つていますが、安部市長から白石への要望などがありましたら、お聞かせください。安部：市民同士の交流をぜひ進めさせていただきたいと思ひます。また、ここで米沢のピーアールをさせていただきますが、城跡のすぐ脇の米沢市上杉博物館では、1月24日から1年間、



▲対談を終えて、これからの活発な交流を約束して、しっかりと握手！